



# 予科寮生活の思い出（特集 開学当時の思い出 III. 大学予科の思い出と当時の食糧事情）

松尾, 保

---

**(Citation)**

神戸大学医学部神緑会学術誌, 10:80-81

**(Issue Date)**

1994-06

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCOI)**

<https://doi.org/10.24546/81007338>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007338>



## 「予科寮生活の思い出」

松尾 保 (26年卒)

再壇の葉を形どった徽章が鮮やかな白線帽、裸子に白鼻緒の高下駄、腰に汚れたタオル、マントをなびかせて盃山を脊にポプラ並木を謳歌した篠山での予科生活、一年足らずの短い期間であったが、青春時代の良き思い出である。

昭和21年5月、予科編入が決まったとき、私の脳裏から消えていた高校時代の兄の蛮から姿こども心に憧れていた。これからの予科生活、青春を大いに楽しもうという躍動感、今でもよく覚えている。50年の旅路の映像を戻しながら予科時代、寮生活の2、3の思い出を綴り、若さを保つエネルギーの糧にしたい。

### その1. ファイヤーストーム

入寮第一夜、全寮生が校庭にかがり火を囲み、青春歌を絶唱、怒涛の如く、怒声をはりあげ、町に踊りでた。篠山の町民はさぞ驚いた事であろう。同室の高橋君と警察署の前で青春の炎と踊り狂い、警察から注意された事、おぼろげながら記憶に残っている。楽しい予科生活のスタートでもあった。

### その2. 体育祭

空襲に明け暮れ、長い戦時体制の悪夢から解放され、久し振りに学生時代の青春を呼び覚ましてくれた体育祭、同期の西口睦君、赤沢淳平君の努力により作詞された寮歌、応援歌、蛮声をはりあげて、懐かしい思い出である。各部屋の仮装行列、私のナイチゲール姿(写真3)は如何でせう。私の亡き母も参加し、スプーンレースに出演してくれた映像は今も鮮明に残っている。



写真2 南寮2室の仮装行列(体育祭)

### その3. 南寮2室

私は南寮2室、同期では祐源浩二君、森雅和君、高橋寛君(写真2)で起居をともし、夜遅くまでよく人生論を論じたものである。部屋の気風としては自然態(囲碁の世界では宇宙流)をモットーとし、万年床はいうまでもなく、時には不入浴同盟を結んだり恋愛至上主義を唱えたりしたものである。当時は食糧事情が悪く、すべて配給制で与えられたものは何でも食べよう、一夜干しのネズミをチャンコ鍋にして皆で食べたという逸話がある。僅かな米を持ち寄り飯盒炊さんでいも粥をすすり空腹感を癒したのも懐かしい思い出である。

最後に、夢よもう一度! ポートピア博覧会を記念して発足した神戸青春寮歌祭、旧き学友たちと若き日の情熱を明日への新たな活力へと心

をはずませ、毎年秋の寮歌祭に参加する事を楽しみにしている。

(第二代 小児科教授)



写真3 南寮2室，同期生とともに